

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	上野学園大学
設置者名	学校法人 上野学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
音楽学部	音楽学科	夜・通信	0	0	15	15	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.uenogakuen.ac.jp/university/aboutus/

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	上野学園大学
設置者名	学校法人 上野学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.uenogakuen.ac.jp/university/about/disclosure/staff.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	2018.6.21 ～ 2020.6.20	組織運営体制への チェック機能
非常勤	株式会社役員	2018.6.21 ～ 2020.6.20	財務
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	上野学園大学
設置者名	学校法人 上野学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義要旨(シラバス)の記載内容 授業科目の概要、到達目標、履修対象、授業計画、事前事後学習内容と所要時間、成績評価方法及び基準、使用するテキスト、参考図書、オフィスアワーを記載している。 ・講義要旨(シラバス)の作成過程 翌年度に開講される授業科目について、12月末までに、大学事務部から担当教員に講義要旨(シラバス)作成を依頼する。専用の用紙又はデータにて作成された講義要旨(シラバス)を提出してもらい、大学事務部にて体裁を整え、FD委員会より依頼を受けた担当教員以外の第三者による内容のチェックを行う。 ・講義要旨(シラバス)の作成・公表時期 作成された講義要旨(シラバス)は、前年度の3月末までにホームページにて公表する。 	
授業計画書の公表方法	https://www.uenogakuen.ac.jp/university/aboutus/education/course.html
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>講義要旨(シラバス)に、各授業担当教員の成績評価に対する考えを示している。出席がその授業回数数の3分の2に達していない場合は、その科目の評価を受ける資格を失い、単位が修得できなくなる。</p> <p>(クラス授業)</p> <p>授業の試験等の成績や受講態度によって、学習目標の内容の理解度に基準を設け、A+、A、B+、B、B-、C、D、Eの8段階で評価している。A+～Cは合格、D・Eは不合格となる。</p> <p>(専門実技レッスン授業)</p> <p>専門実技の評価点数については、各試験の審査員により提出された試験採点の最低点と最高点をカットし、その平均点に、平常点(レッスン受講態度等)を加味して総合的に評価する。A+、A、B+、B、B-、C、D、Eの8段階で評価し、A+～Cは合格、D・Eは不合格となる。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 学習達成度を図る指標として、GPA制度を導入している。成績評価のGPは、A+=4.0、A=3.5、B+=3.0、B=2.5、B-=2.0、C=1.0、D=0、E=0となっている。GPAには学期GPAと累計GPAの2種類がある。 (GPAの算定対象となる科目) ・成績評価を受けた卒業要件に参入される全ての授業科目(単位認定を受けた科目を含む) ・英語の外部資格試験の点数によって成績を得た授業科目 (GPAの算定対象とならない科目) ・評語による成績評価の出ない授業科目 ・履修取消をした授業科目</p> <p>1. 学期GPA <u>(当該学期に評価を受けた科目のGP×当該科目の単位数)の合計</u> 当該学期の総履修登録単位数</p> <p>2. 累計GPA <u>(在学全期間に評価を受けた科目のGP×当該科目の単位数)の合計</u> 在学全期間の総履修登録単位数</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.uenogakuen.ac.jp/university/about/disclosure/record_basis.html
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 以下の要件を満たし、所定の124単位を取得した学生について、教授会の審議により、学士(芸術学)の学位を授与する。 ・建学の精神「自覚」をもって、音楽の高い芸術性を身につけ、表現力を理解し、涵養していること。 ・音楽の演奏と教育に携わる知識・技能を身につけていること。 ・音楽およびリベラルアーツの学びを通して、グローバルな視野、社会人として必要な公共性、教養、品格を涵養していること。 ・自身のキャリアの可能性を認識し、キャリア・ビジョンを形成する基礎的知識を有していること。 ・地域連携(アウトリーチ活動・ボランティア活動等)の意義を認識していること。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.uenogakuen.ac.jp/university/about/disclosure/record_basis.html

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	上野学園大学
設置者名	学校法人 上野学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.uenogakuen.ac.jp/university/about/disclosure/report.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.uenogakuen.ac.jp/university/about/disclosure/report.html
財産目録	https://www.uenogakuen.ac.jp/university/about/disclosure/report.html
事業報告書	https://www.uenogakuen.ac.jp/university/about/disclosure/report.html
監事による監査報告(書)	https://www.uenogakuen.ac.jp/university/about/disclosure/report.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.uenogakuen.ac.jp/university/about/disclosure/evaluation.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 音楽学部
<p>教育研究上の目的 (公表方法：https://www.uenogakuen.ac.jp/university/about/disclosure/purpose.html)</p> <p>(概要) 本学は、学園の建学の精神「自覚」を教育の重要な理念とし、すぐれた文化の継承・創造と発展に寄与し、貢献し得る人間を育成することを使命とし、高度にして精深な学術、音楽芸術を教授、研究することを目的とする。(上野学園大学学則第 1 章第 1 条)</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：https://www.uenogakuen.ac.jp/university/about/disclosure/purpose.html)</p> <p>(概要) 以下の要件を満たし、所定の 124 単位を取得した学生に学士(芸術学)の学位を授与する。 <ul style="list-style-type: none"> ・建学の精神「自覚」をもって、音楽の高い芸術性を身につけ、表現力を理解し、涵養していること。 ・音楽の演奏と教育に携わる知識・技能を身につけていること。 ・音楽およびリベラルアーツの学びを通して、グローバルな視野、社会人として必要な公共性、教養、品格を涵養していること。 ・自身のキャリアの可能性を認識し、キャリア・ビジョンを形成する基礎的知識を有していること。 ・地域連携(アウトリーチ活動・ボランティア活動等)の意義を認識していること。 </p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.uenogakuen.ac.jp/university/about/disclosure/purpose.html)</p> <p>(概要) 学則第 1 条「高度にして精深な学術・音楽芸術を教授・研究すること」を基盤とし、建学の精神「自覚」を踏まえて、以下の方針でカリキュラムを構築している。 <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム、西洋音楽の学び、人文系の教養・基礎科目、外国語科目、そして特別公開講座等を通して、グローバル社会に順応できる人材を育成する。 ・専門実技の個人レッスン(演奏家コース週 120 分、器楽または声乐コース週 60 分)は、専門実技の習熟をはかる。 ・専門教育のみならず、一般教育科目(教養・基礎科目、外国語科目)において、学生として必要な幅広い教養を習得し、多角的な視点からの学びに重点を置いている。 ・外国語科目として、「英語」「フランス語」「ドイツ語」「イタリア語」を開講している。英語では国際社会で即戦力となるコミュニケーション・スキルズを習得すると共に、グローバルな視点を伴う幅広い教養を身につけることを目指す。そして、英語以外の外国語の学習により、自身の専門分野の視野を広げることができる。 ・「ソルフェージュ」「和声法」等の音楽基礎科目では、学年別・グレード別によるきめ細やかなクラス設定と、4 年次まで学ぶことのできる充実した選択科目を用意している。 ・「初年次プログラム」(1 年次生の必修科目)において、学修に必要な基本的スキルの習得と、社会人としてのキャリアを積むために必要な知識と考え方を学ぶことにより、キャリア形成の導入をはかる。 ・1 年間に取得できる単位の上限を 46 単位(個人実技レッスンの単位を含む)と設定している。 </p>

- ・自由科目として、保健体育科目・情報処理科目その他を配置している。ここにおいて各学科目の超過単位を充当することにより、合理的に履修することができる。
 - ・教育職員免許状の取得を目指す学生のために、教職課程を設置している。卒業要件に含まない「教職に関する科目」（35単位）、「和楽器研究」「日本の伝統的な歌唱研究」などの教職課程限定科目を配置している。
 - ・社会教育主事任用資格の取得を目指す学生のために、通常カリキュラムの中に、社会教育主事養成課程を設置している。所定の30単位全てを卒業要件に含めることができる。
 - ・ウィーン音楽演劇大学へのゼメスター留学制度を設け、留学先で取得した単位は、本学で設定しているカリキュラム内で認定する。
 - ・4年間必修の「特別講座」は、学内の教員が出演する特別公開講座Ⅰと国内外の著名な演奏家や指導者を招聘する特別公開講座Ⅱを設定、公開レッスンやレクチャー・コンサートを行い、通常の授業で学ぶ以外の広い音楽領域の学びの機会を創出している。
 - ・アウトリーチ活動、ボランティア活動、アクティブ・ラーニングに関わる企てとして、国立科学博物館や旧岩崎邸庭園などの上野周辺の公共施設や地方自治体その他と連携し、学外で演奏する機会を用意している。
 - ・学生の主体性を育み、教員と学生が双方向で学びを共有する形式の授業が、実技系・研究系を問わずに実践されている。
- (3年次編入)
- ・これまでに短期大学・大学で取得した単位のうち、大学カリキュラムと同一または類似の科目単位を60単位まで認める。
 - ・専門変更などの理由により認定単位が60単位に満たなかった場合でも、2年間で卒業要件単位の履修を可能とする。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：<https://www.uenogakuen.ac.jp/university/about/disclosure/purpose.html>)

(概要)

上野学園大学の教育基本概念は、建学の精神「自覚」にある。これを基盤として、以下のような学生を求めている。

- ・「自覚」の精神をもって、音楽の演奏・研究に真剣に取り組む人。
- ・大学での学修の基礎となる技術と能力（ソルフェージュを含めて）をある程度備えている人。
- ・自分を深く見つめると共に他人をわかり、音と心において自然な交信のできる人。
(アンサンブルにおける「和」の感性)
- ・高い芸術水準での演奏家を目指し、そのための努力を惜しまない自覚と資質を持つ人（演奏家コース）。
- ・教育の道を志し、中学校・高等学校音楽科教員、社会教育主事の資格取得を目指す人。
- ・吹奏楽部で管楽器等に、あるいは合唱部で歌うこと親しんだ結果、本格的に勉強してその道に進みたいと希望する人。
- ・主体的・能動的な学びの中に身を置きたいと望む人。
- ・音楽の学びを通じて養われる集中力と持続力を、多方面で活用する意欲のある人。
- ・グローバルな視野をもち、音楽文化を有意義に組織、活性化していく意欲と創意のある人。
- ・音楽を通して、社会・文化への貢献を果たしたいと願う人。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.uenogakuen.ac.jp/university/about/disclosure/organization.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
音楽学部	—	11人	8人	3人	0人	0人	22人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長				学長・副学長以外の教員			計
0人				108人			108人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://www.uenogakuen.ac.jp/university/teacher/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
音楽学部	110人	53人	48.2%	452人	218人	48.2%	若干名	7人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	110人	53人	48.2%	452人	218人	48.2%	若干名	7人
(備考) 平成31年度より3年次編入学定員廃止(12人→0人)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
音楽学部	72人 (100%)	2人 (2.8%)	37人 (51.4%)	33人 (45.8%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	72人 (100%)	2人 (2.8%)	37人 (51.4%)	33人 (45.8%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				

(備考)

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)

(備考)

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
 授業科目について、概要、到達目標、履修対象、授業計画、事前事後学習内容と所要時間、成績評価方法及び基準、使用するテキスト、参考図書、オフィスアワーを記載した講義要旨 (シラバス) を前年度の3月末までにホームページに掲載している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)
 講義要旨 (シラバス) に、各授業担当教員の成績評価に対する考えを示している。A+、A、B+、B、B-、C、D、Eの8段階で評価し、A+~Cは合格、D・Eは不合格となる。卒業の認定に関する方針の要件を満たし、所定の124単位を取得した学生に学士 (芸術学) の学位を授与する。

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
音楽学部	音楽学科	124 単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法:		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法:		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法: <https://www.uenogakuen.ac.jp/university/campus/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
音楽学部	音楽学科(1年次) 器楽コース 声楽コース グローバル教養コース	1,345,000円	200,000円	520,000円	
	音楽学科(2~4年次) 器楽コース 声楽コース グローバル教養コース	1,345,000円	—	570,000円	
	音楽学科(1年次) 演奏家コース	1,545,000円	200,000円	520,000円	
	音楽学科(2~4年次) 演奏家コース	1,545,000円	—	570,000円	
	音楽学科(1年次) グローバル教養コース 文化創造マネジメント専門	807,000円	200,000円	445,000円	
	音楽学科(2~4年次) グローバル教養コース 文化創造マネジメント専門	807,000円	—	495,000円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>学修支援・授業支援として、初年次ゼミを年2回実施しています。大学生活が始まってから感じたこと、直面している問題などについて、ワールド・カフェ方式で話し合い、解決に向けた提案などを出し合っています。</p> <p>また、実技レッスン、授業、学生生活、大学施設などについてのアンケートを実施し、意見を幅広く聴き取っています。</p>
b. 進路選択に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>(インターンシップ)</p> <p>企業と大学が連携し、音楽療法を積極的に取り入れた高齢者施設と保育園や児童施設等を運営する企業でのインターンシップ・プログラムを設定しています。就業体験を通じ、自己理解と職業観・人生観の形成につなげることができます。</p> <p>また、文化創造マネジメントに関する授業では、学外文化施設と提携し、演奏会制作等に関するインターンシップを行っています。</p> <p>(キャリア教育)</p> <p>授業科目「初年次プログラム」において、音楽業界および教育分野で活動するプロフェッショナル・卒業生を講師として迎え、キャリア教育を行っています。</p> <p>職業意識をもち、自主的に自身のライフ・プラン、キャリアプランニングを考える契機とすることを目標としています。</p>
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>本学では、学生の心身健康維持のため、医務室および学生相談室を設置し、支援体制を整えています。医務室では傷病手当のほか健康相談を、学生相談室では学生の悩み相談を行っています。医務室看護師と学生相談室相談員は、守秘義務を厳守し、緊急時体制を整えています。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.uenogakuen.ac.jp/university/about/>